

## 第2回：意思決定支援研修会（応用編）アンケート結果

日時 平成30年7月27日（金）14:00～16:00

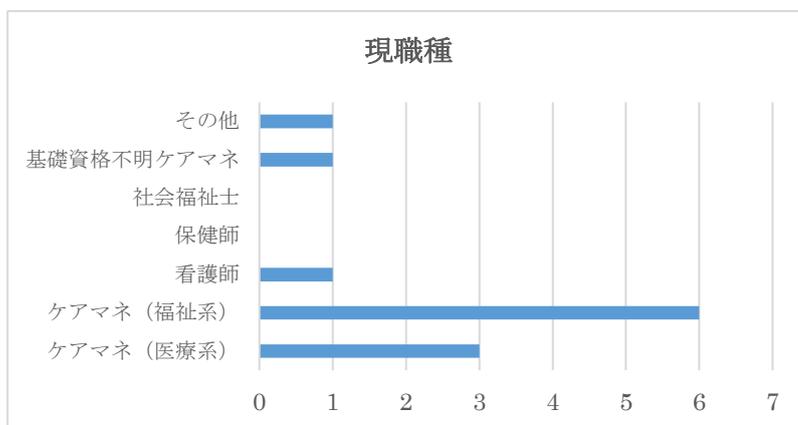
会場 長浜市民交流センター

参加数 16人（講師1人・事務局3人除く）

アンケート回答者 12人 回答率（75%）

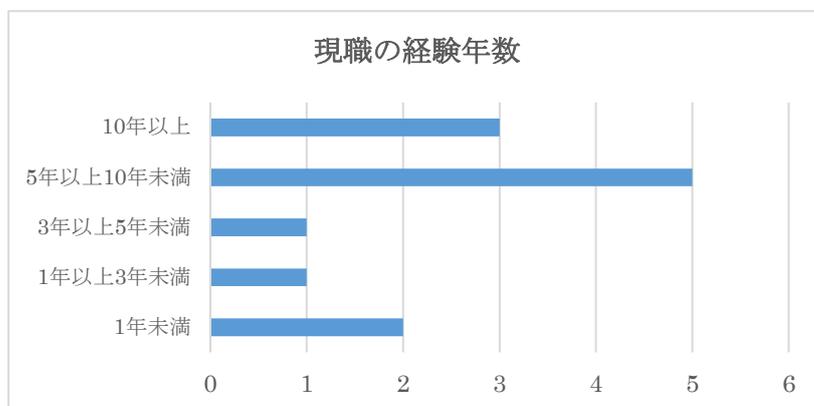
### Q1 現職種

職種	人数
ケアマネ（医療系）	3
ケアマネ（福祉系）	6
看護師	1
保健師	0
社会福祉士	0
基礎資格不明ケアマネ	1
その他	1



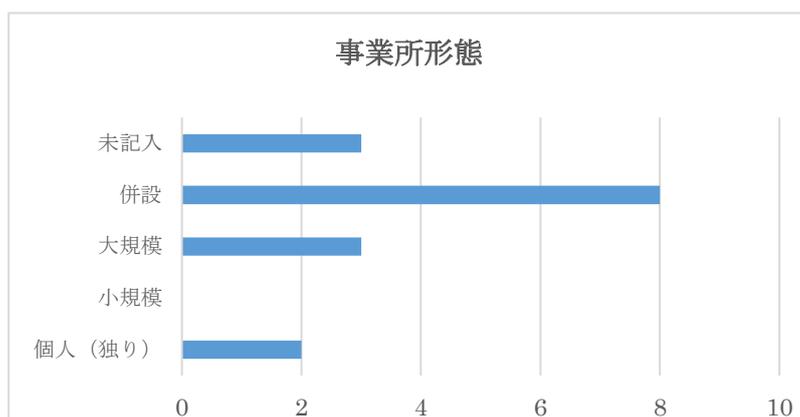
### Q2 経験年数

年数	人数
1年未満	2
1年以上3年未満	1
3年以上5年未満	1
5年以上10年未満	5
10年以上	3



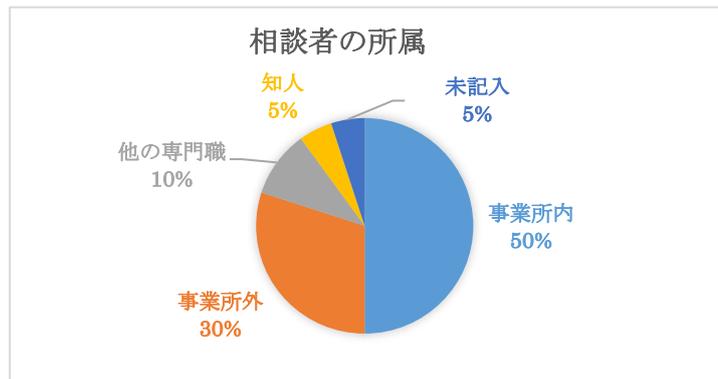
### Q3 事業所形態（複数回答）

動機	人数
個人（独り）	2
小規模	0
大規模	3
併設	8
未記入	3



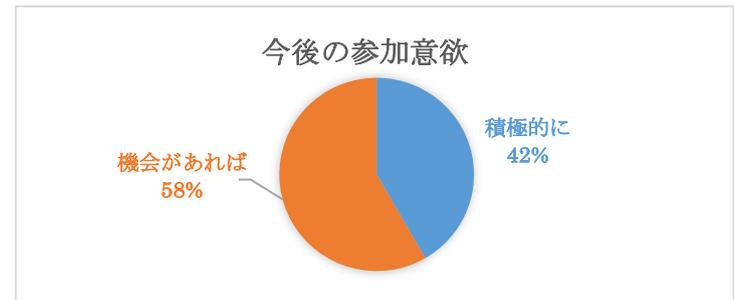
#### Q 4 相談相手（複数回答）

いる	
・事業所内	10
・事業所外	6
・他の専門職	2
・知人	1
いない	0
未記入	1



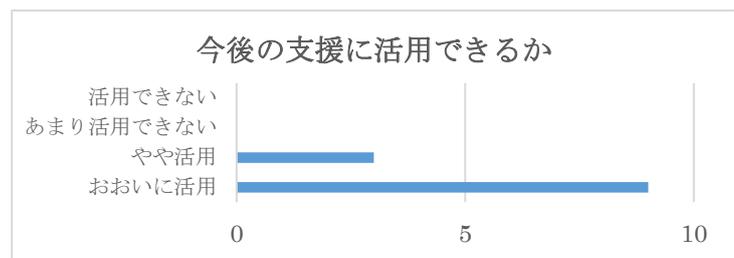
#### Q 5 今後の研修参加

積極的に	5
機会があれば	7
気が向けば	0
したくない	0
未記入	0



#### Q 6 本研修は今後の支援に活用できそうか

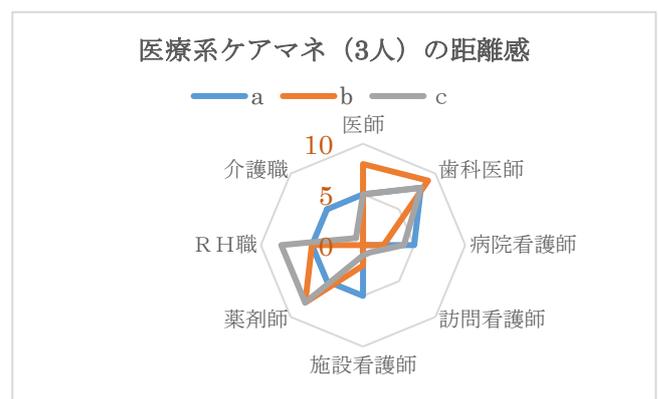
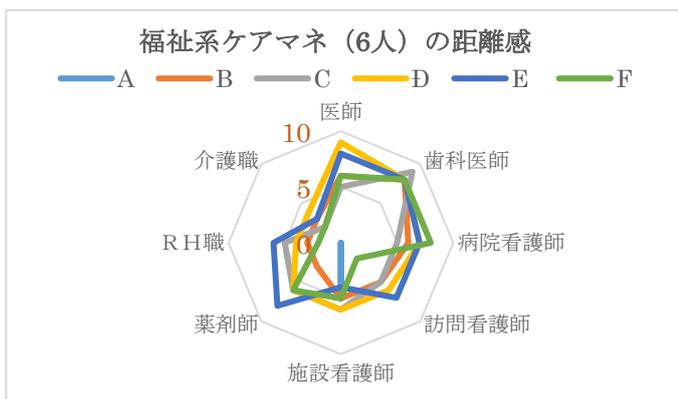
おおいに活用	9
やや活用	3
あまり活用できない	0
活用できない	0

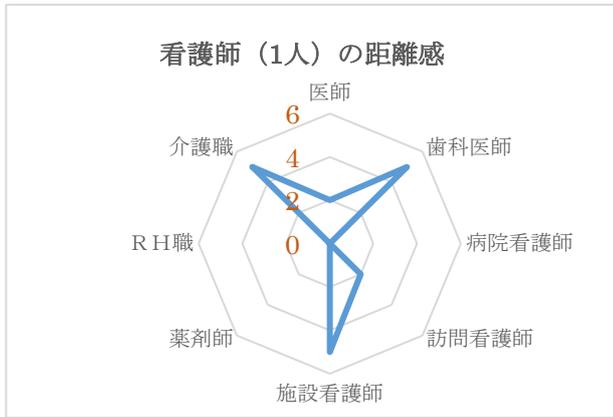


#### →Q 6 に関する意見

- ・看多機として、病院からの受け入れは多いので、ケアマネとして「どうコーディネートしていくべきか」勉強になりました。
- ・自己点検ができました。ロールプレイにより、より立場の理解が深められました。
- ・みんなが考えている事と、思っている事がよく分かった。
- ・実際にロールプレイを行い、人それぞれ価値観の大切さを感じられた。ケース会議では、落としどころに導くことに一杯になっている事が多いので其々の立場を考える機会になった。
- ・ロールプレイをする事で、他の気持ちや役割を理解できた。
- ・様々なケースや事例を担当する中で役立ちそう。
- ・「病気を看るのではなく、本人を見る」という言葉に共感できました。本人家族の不安や思いに寄り添えるチームの大切さを考えられた

#### Q 7 多職種との距離感（10を最大とした時）





		医師	歯科 医師	病院 看護師	訪問 看護師	施設 看護師	薬剤師	RH職	介護職
ケア アマ マ ネ	A	0	0	0	0	5	0	0	0
	B	6	8	6	5	5	3	3	3
	C	5	9	5	5	6	6	5	2
	D	9	8	7	6	6	6	4	4
	E	8	8	7	7	4	8	6	3
	F	6	8	8	2	5	6	2	2
ケア 医療 マ ネ	a	5	8	5	0	5	5	5	5
	b	8	9	2	0	2	8	5	0
	c	5	8	4	1	1	8	8	1
看護師		2	5	0	2	5	0	0	5

### Q8 本研修会の全体のご感想やご意見

- ・シナリオを見てロールプレイできるか心配しましたが、グループで助け合いながら参加でき、少し楽しく思いました。
- ・非常に分かりやすくエネルギーを貰いました。
- ・ロールプレイを行う機会はないので、良い機会でした。
- ・こういう研修に出席することで、横のつながりを作って相談相手になってくれる方などをつくっていきたいと思う

### 【所感】

研修日は長浜花火のイベントや連日の酷暑で利用者さんへの緊急訪問などから当日欠席が多くあり、3Gの予定を2Gに再編し意思決定支援について学習しました。アイスブレイクのペーパーチェーンでは、1回戦が同点で2回戦では接戦の結果、1Gが豪華景品を獲得しました。同じ2分間のプレイですが、2回戦は両者とも輪の数が倍以上に増えてびっくりしました。チームが打ち解け、チーム力が強まった結果といえましょう。何でも話せる関係は日ごろの支援においても効果を得ます。ロールプレイでは、色々と感じることも多かったと思います。後藤先生のアドバイスでは、本人、家族、ご近所、親戚、専門職など多様な価値観があり、自分の物差しと同じではないという事。その為には、関係者相互の理解や協力支援が必要という事です。地域で看取りを支えるには、ご本人の意思を基本に看取り場所の選択肢とその対応。その地域の文化や住民の思いを共有。情報共有は専門職間で、専門職⇔住民間、住民間で。「どれだけその人の地域での生活を知っているか?」「どれだけの子供が身近な人の死を目の当たりにしたことがあるか?」「どれだけ家族が、自身がどういった最期を持ちたいと考えているか」ということを話したことがあるか?」などのメッセージを頂きました。ガイドライン改正では「多職種での支援」と「繰り返し話し合うこと」がメインです。当センターでもこのような研修を繰り返し実践することで、多職種連携や人材育成に繋げていきたいと思っています。

